

# Arcserve® Unified Data Protection v5

## プラン作成ガイド

～ Windows サーバをエージェント経由で  
バックアップするプランの作成 ～

2014 年 8 月

REV: 1.6

# 目次

はじめに.....	1
<b>1. 運用を開始するための設定 .....</b>	<b>2</b>
1.1    WINDOWS 保護対象ノードの追加.....	2
1.2    バックアッププランの作成 .....	5
1.3    バックアップの実行 .....	10
<b>2. 製品情報と無償トレーニング情報.....</b>	<b>12</b>
2.1    製品情報 .....	12
2.2    トレーニング情報 .....	12

## 変更履歴:

- 2014 年 5 月作成
- 2014 年 10 月作成: 社名及び製品名表記を変更 (v1.5)
- 2015 年 6 月: 資料内の URL 変更(v1.6)

注意:この資料は 2014 年 5 月 19 日現在の製品をもとに記述しています

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright © 2014 Arcserve, LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

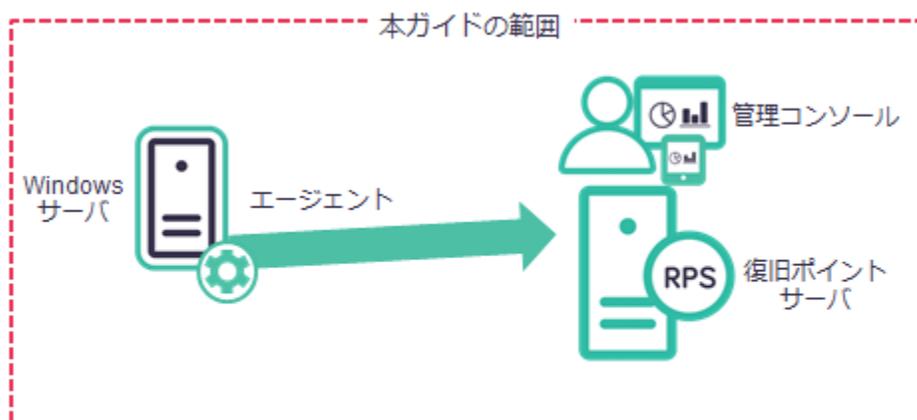
## はじめに

Arcserve® Unified Data Protection v5（以降 UDP と表記）は、非常に「簡単」かつ「手頃」なディスク ベースのシステム保護ソリューションです。単体サーバで構成される小規模なコンピューティング環境にも、複数サーバで構成される大規模なコンピューティング環境のニーズにも必要とされるバックアップ・リカバリ機能を提供します。

導入から運用を開始するまで、ほんのわずかな時間と設定で済むだけでなく、一度運用を始めるとほとんど専門知識や手間をかける必要がないため、バックアップ運用管理者の手薄な地方拠点や小規模な部門でも安心してお使いいただくことができます。

本ガイドでは、あらかじめ構築した UDP コンソールと復旧ポイント サーバを用いて、Windows サーバをエージェント経由でバックアップするまでの手順をステップ バイ ステップで説明します。

### > 本ガイドの構成例



arcserve®

#### <参考> プランとは

プランとは、1 つまたは複数のデータ保護を行うタスクを集約し、定義したものです。それぞれのタスクで実行スケジュールや通知設定などを設定することができます。また、1 つのプランに複数のタスクを設定することによってタスクの関連性を定義することもできます。

代表的なタスクは以下です。

- ・Windows や Linux のサーバをエージェント経由でバックアップするタスク
- ・仮想マシンをエージェントレスでバックアップするタスク
- ・バックアップデータを遠隔転送するタスク
- ・仮想スタンバイサーバを自動作成するタスク
- ・復旧ポイントをコピーするタスク
- ・ファイルコピーを行うタスク

## 1. 運用を開始するための設定

バックアップを行うため、保護対象ノードの追加およびバックアッププランの作成を順に説明します。

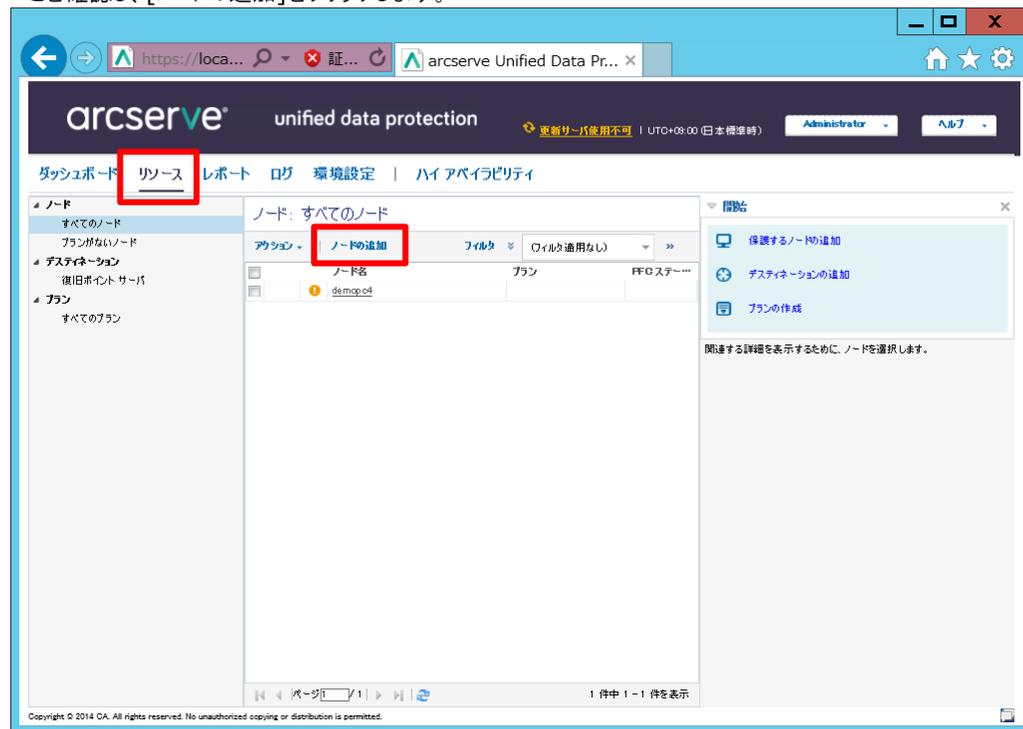
### ※ 前提条件

- ・別紙「環境構築ガイド」に従い、UDP コンソールと 復旧ポイント サーバを構築し、1つ以上のデータストアを作成していること
- ・別紙「Agent 環境構築ガイド」に従い、バックアップ対象の Windows サーバに UDP Agent がインストールされていること

### 1.1 Windows 保護対象ノードの追加

#### (1) [ノードの追加]

コンソール画面にログインし、[リソース]タブをクリックします。左ペインにて[ノード] - [すべてのノード]が選択されていることを確認し、[ノードの追加]をクリックします。

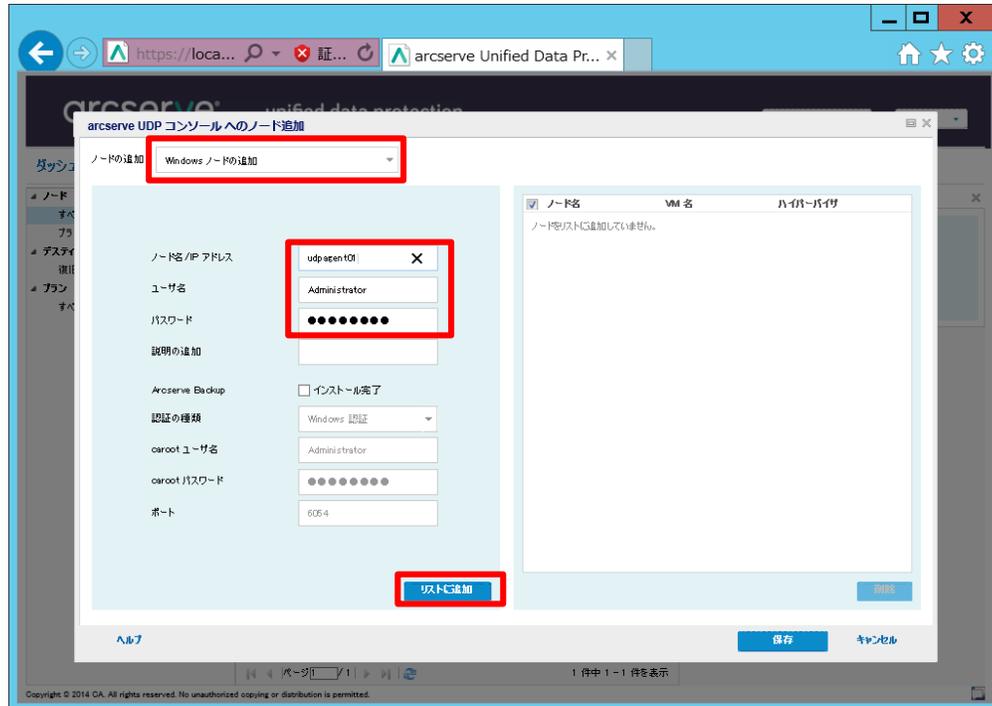


## (2) [arcserve UDP コンソールへのノード追加]

[ノードの追加]にて[Windows ノードの追加]を選択します。

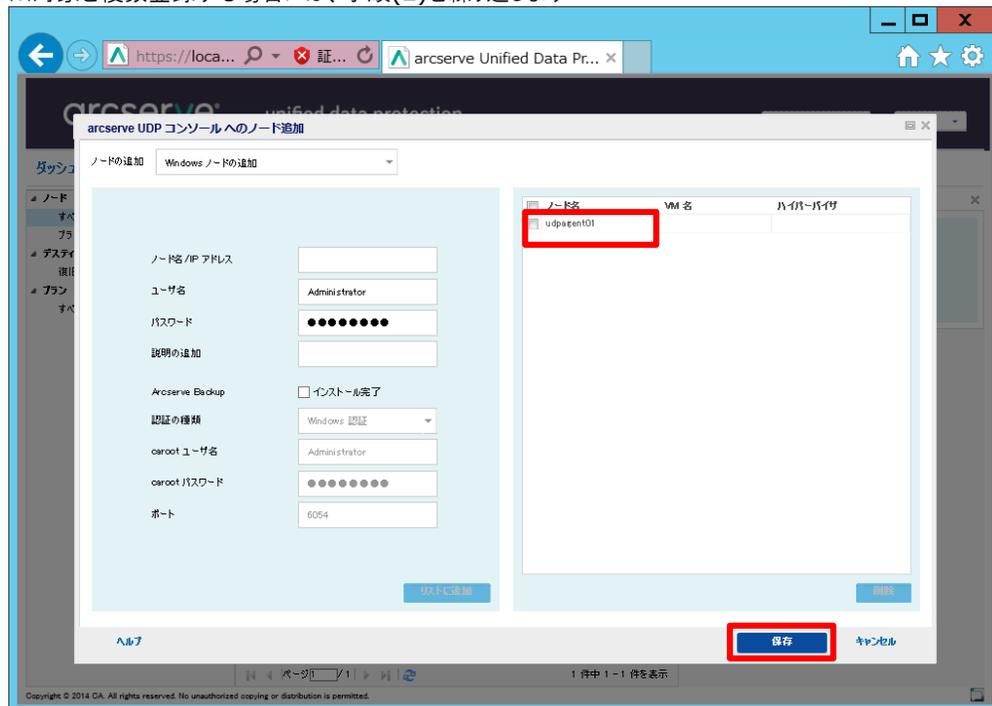
対象ノードの情報を入力します。下図の枠内に、ノード名および対象ノードの管理者権限のあるユーザ名、パスワードを入力し、[リストに追加]をクリックします。

※ノード名は IP アドレスで入力することも可能ですが、後述の復旧ポイントサーバや管理コンソールを導入したサーバと相互名前解決できる必要があります。



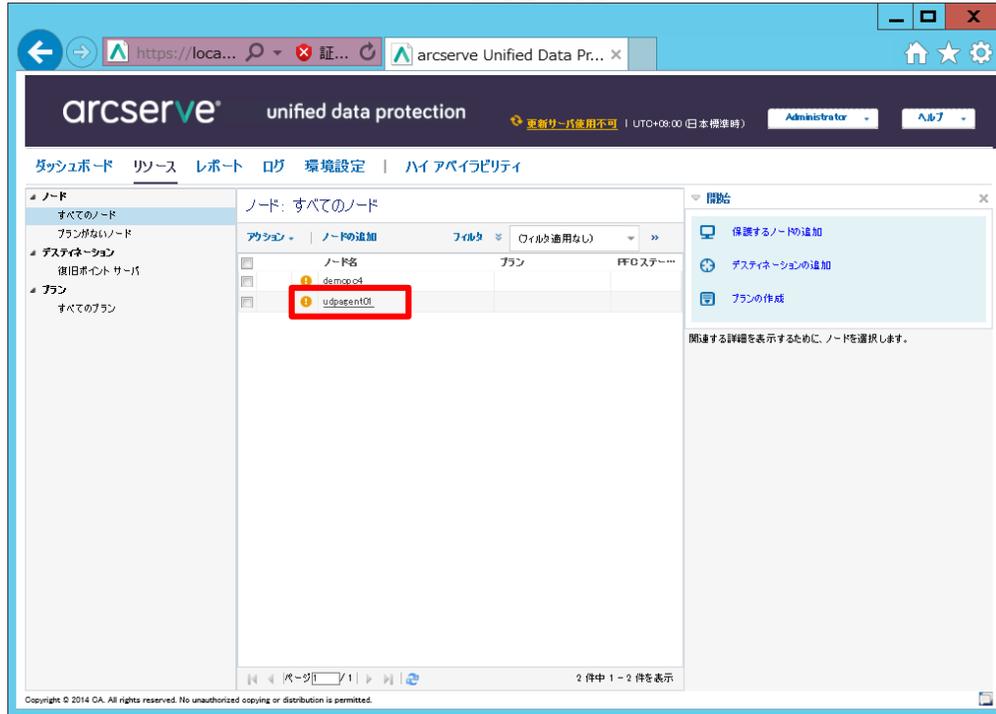
入力した認証情報が正しければ、右側に登録されたノードが表示されます。確認して、[保存]をクリックします。

※対象を複数登録する場合には、手順(2)を繰り返します



(3) [ノード追加の確認]

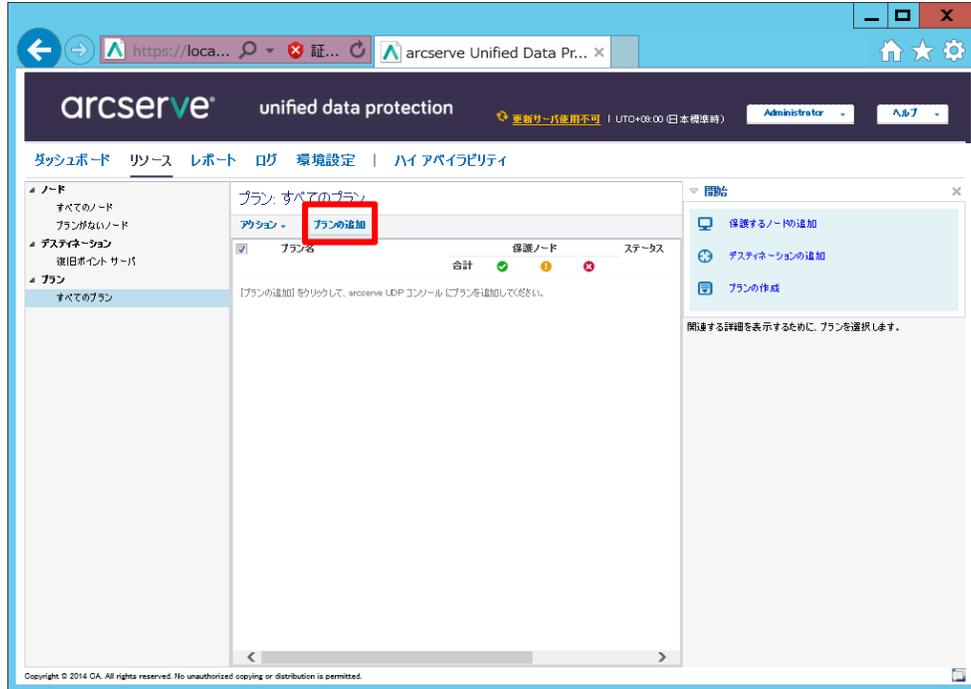
追加したノードがノード一覧に表示されていることを確認します。



## 1.2 バックアッププランの作成

### (1) [プランの追加]

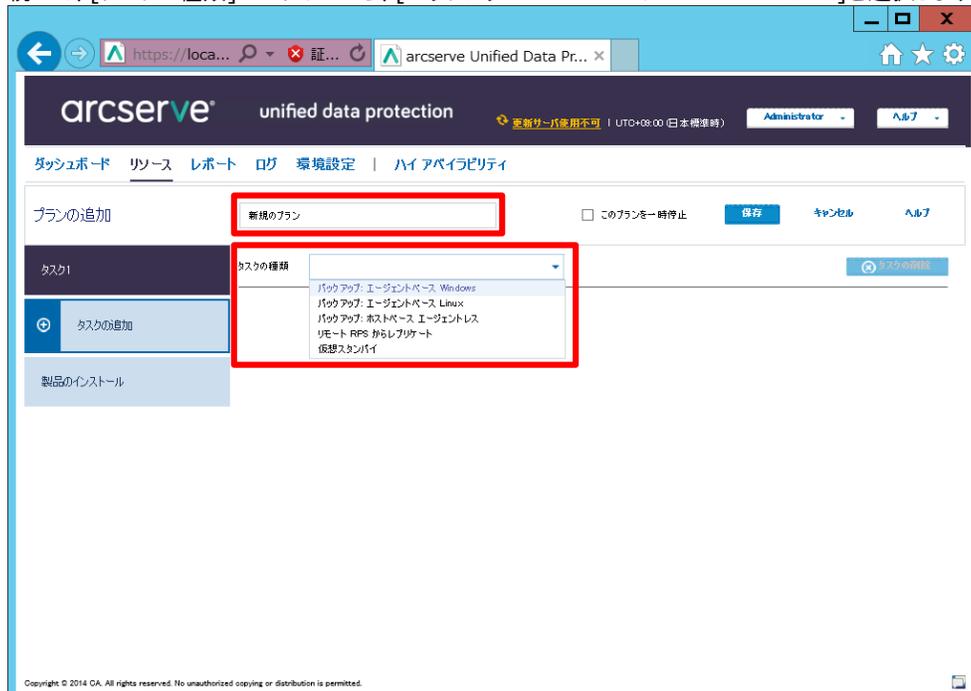
追加したノード(UDP Agent for Windows)のバックアップを行うプランを作成します。左ペインから[プラン] - [すべてのプラン]を選択し、[プランの追加]をクリックします。



### (2) [プラン名、タスクの種類]

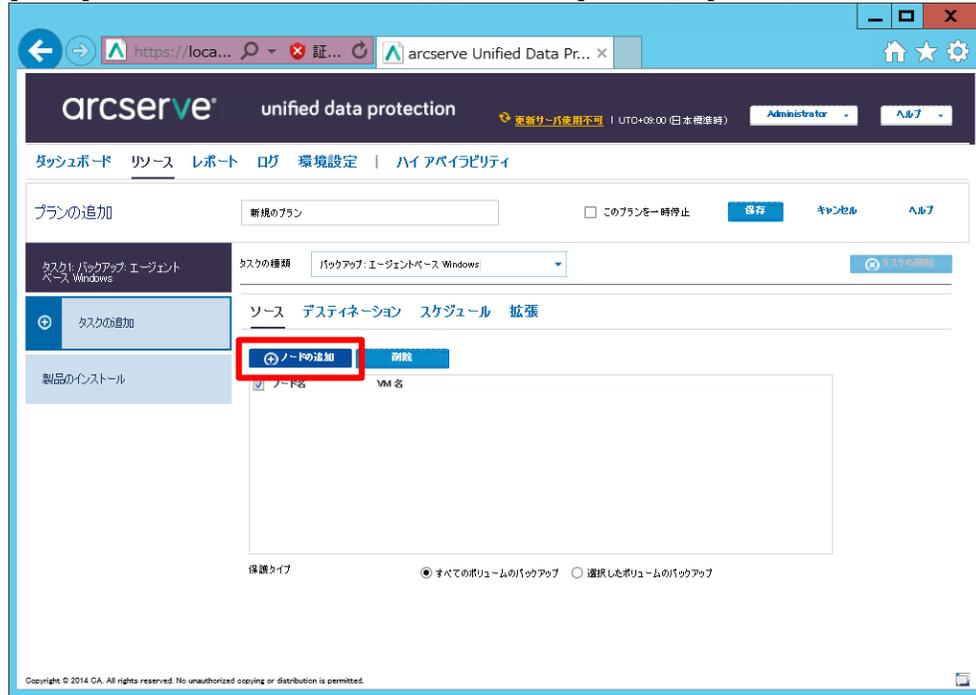
[プランの追加]画面が表示されます。デフォルトではプラン名は「新規のプラン」となっていますが、必要に応じて任意のプラン名を入力してください。(本ガイドではデフォルトのまま進めます)

続いて、[タスクの種類]プルダウンから、[バックアップ: エージェントベース Windows]を選択します。

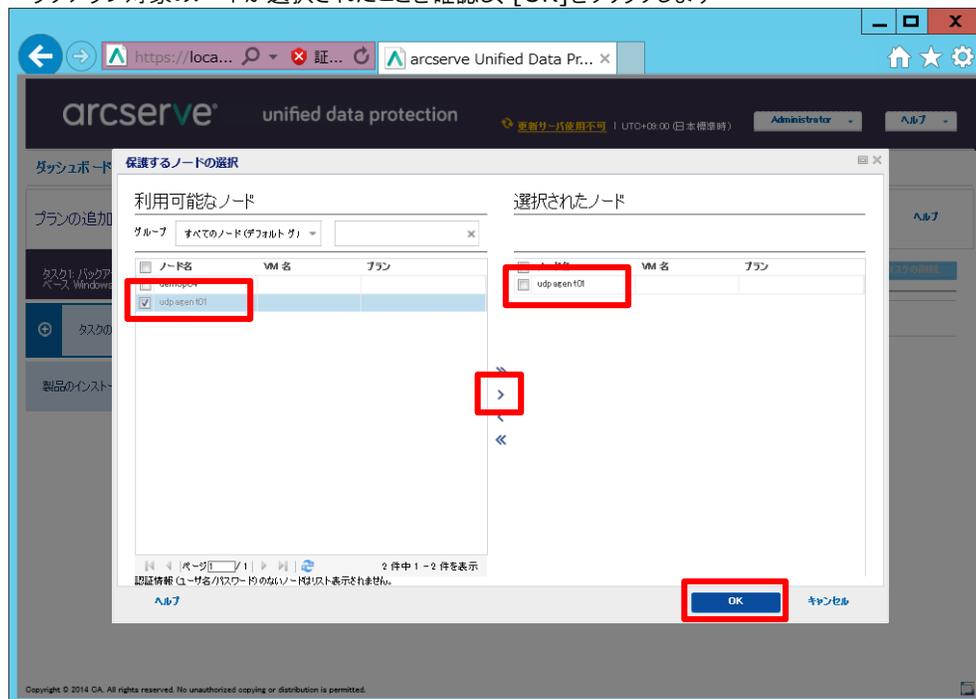


(3) [ソース選択]

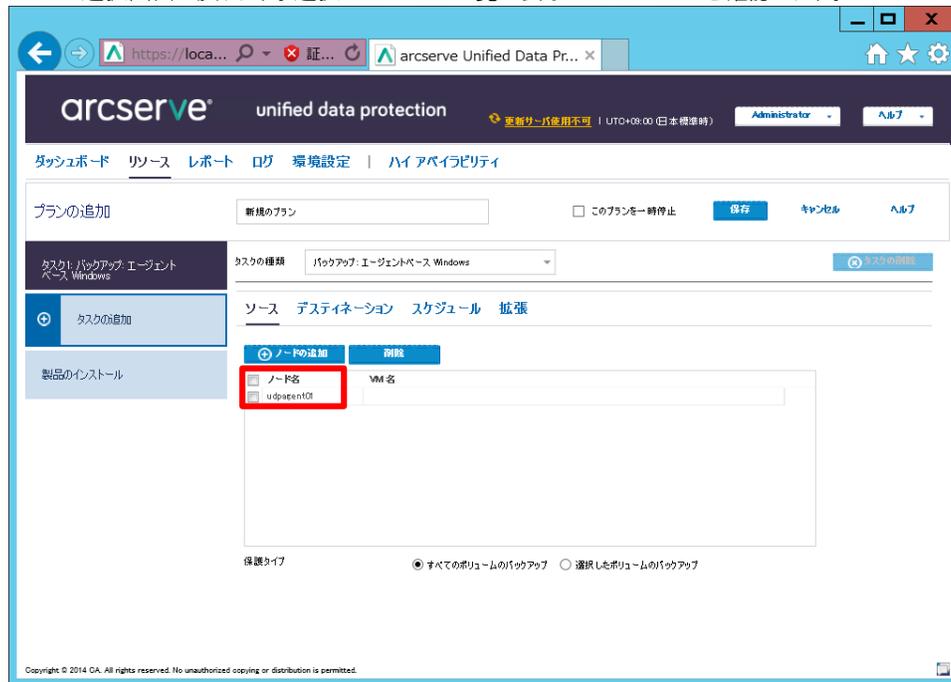
[ソース]タブにてバックアップ対象のノードを選択するため、[ノードの追加]ボタンをクリックします。



[保護するノードの選択]画面が表示されます。利用可能なノードが一覧表示されますので、追加したいノードにチェックを入れ、右矢印ボタン( > )をクリックしてください。[選択されたノード]にノードが追加されます。バックアップ対象のノードが選択されたことを確認し、[OK]をクリックします



ノードの選択画面に戻ります。選択したノードが一覧に表示されていることを確認します。

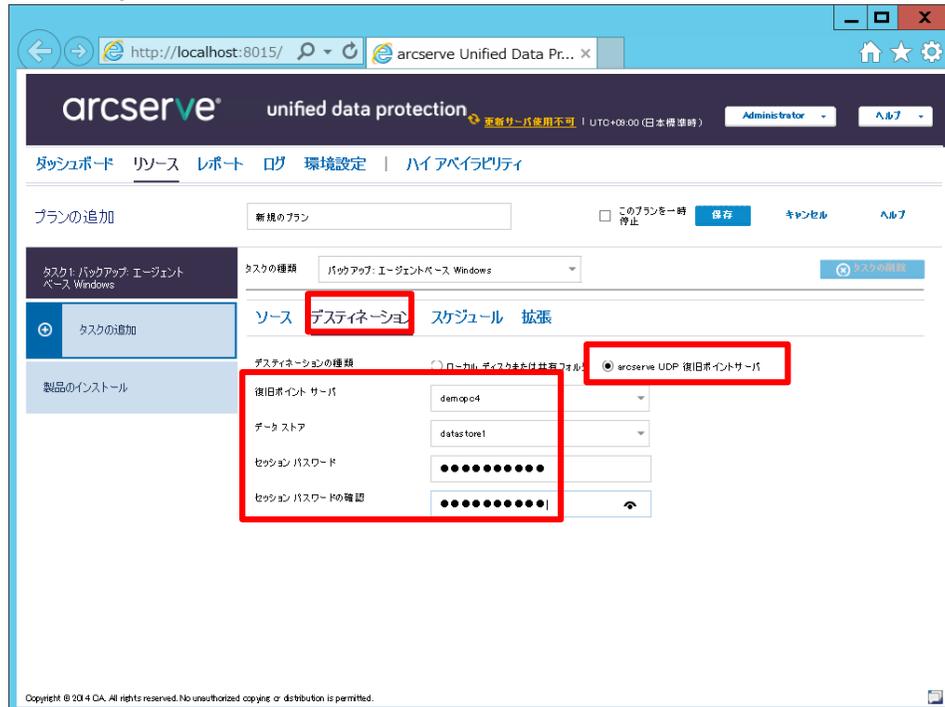


#### (4) [デスティネーション設定]

[デスティネーション]タブをクリックし、バックアップデータの格納先を設定します。[デスティネーションの種類]にて、[arcserve UDP 復旧ポイントサーバ]を選択します。

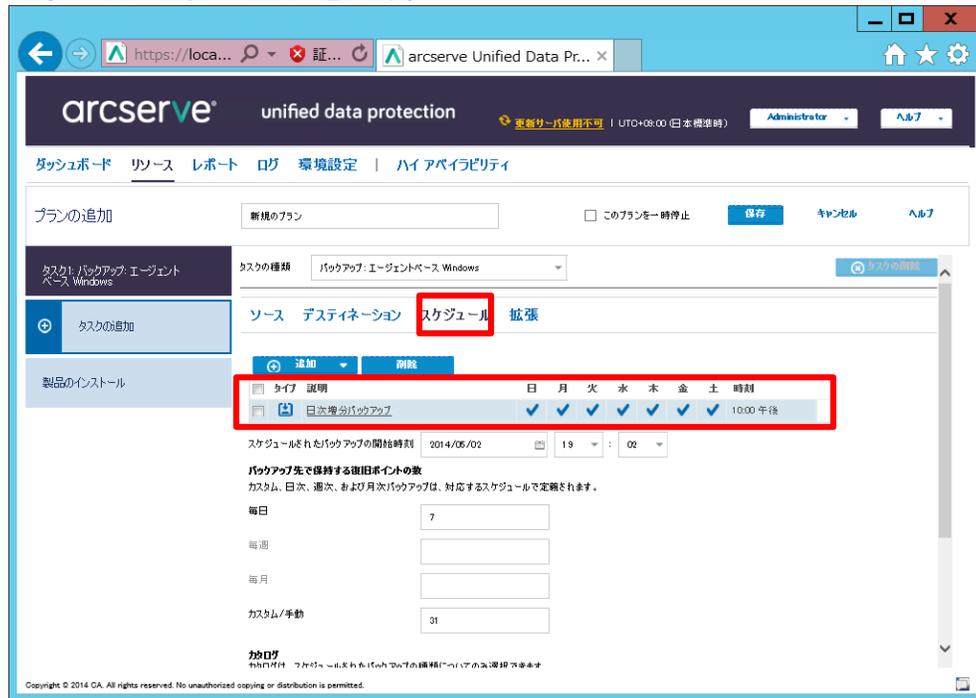
以下のような設定画面となりますので、[復旧ポイント サーバ]にて RPS を、同様に[データストア]にて追加したデータストアを、それぞれプルダウンから選択してください。

デスティネーションに RPS を使用する場合、バックアップデータを保護するためのセッションパスワードの設定が必要です。任意のパスワードを入力してください。なお、設定したパスワードはリストア時に必要ですので忘れないよう適切に管理してください。

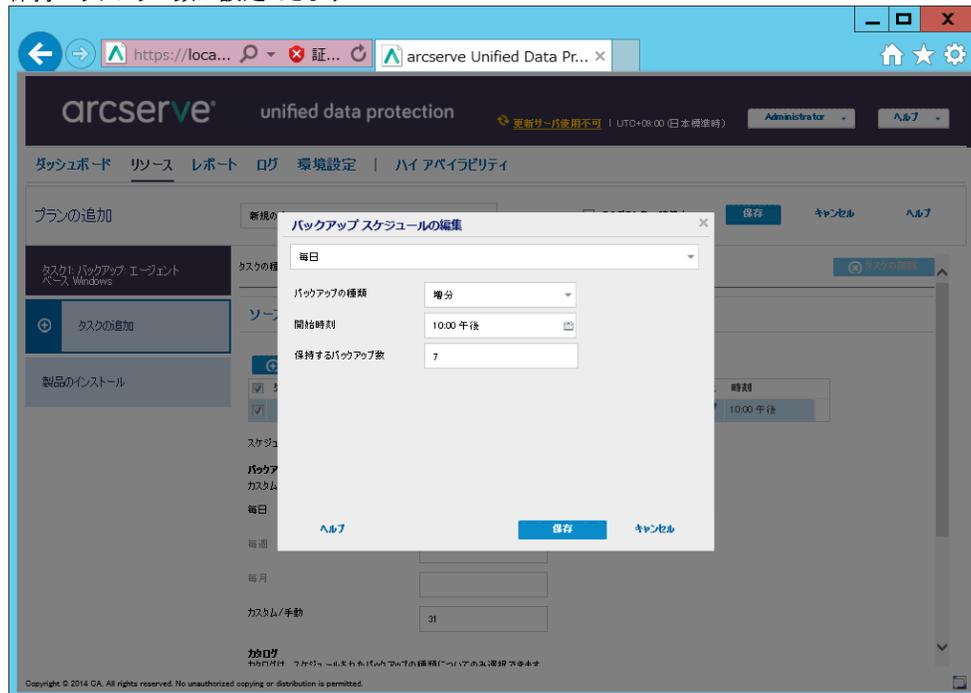


(5) [スケジュール設定]

[スケジュール]タブをクリックし、スケジュール設定をします。デフォルトで[日次増分バックアップ]が設定されており、毎日午後 10 時からの増分バックアップがスケジュールされています。必要に応じてスケジュールの変更や追加をしてください。ここではデフォルトのままを進めます。

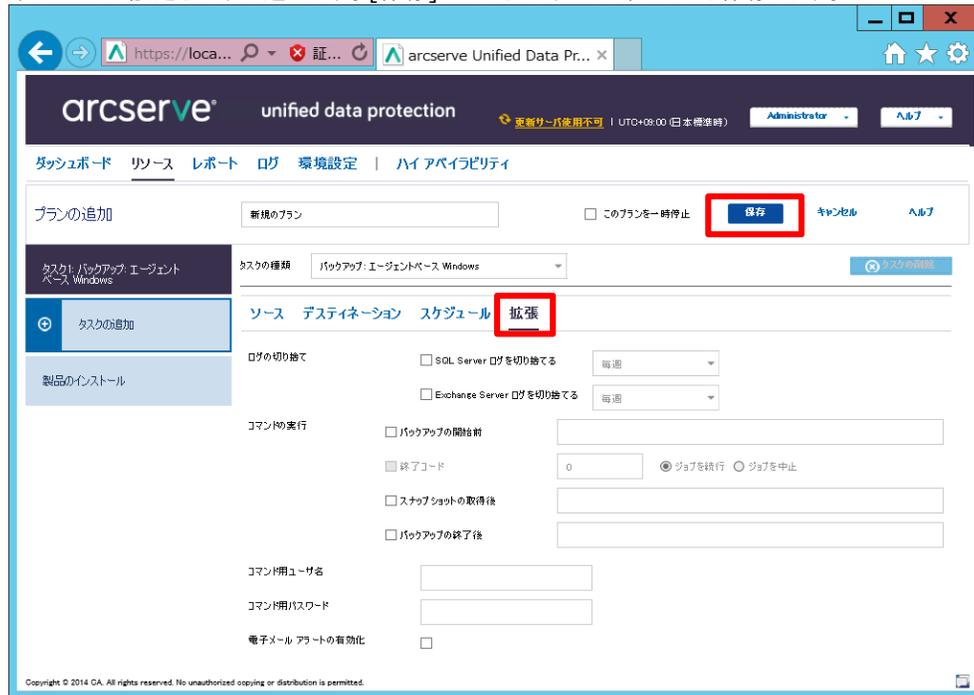


(参考)日次増分バックアップをクリックした際に表示されるスケジュール編集画面です。バックアップの種類、開始時刻、保持バックアップ数が設定できます



## (6) [拡張設定]

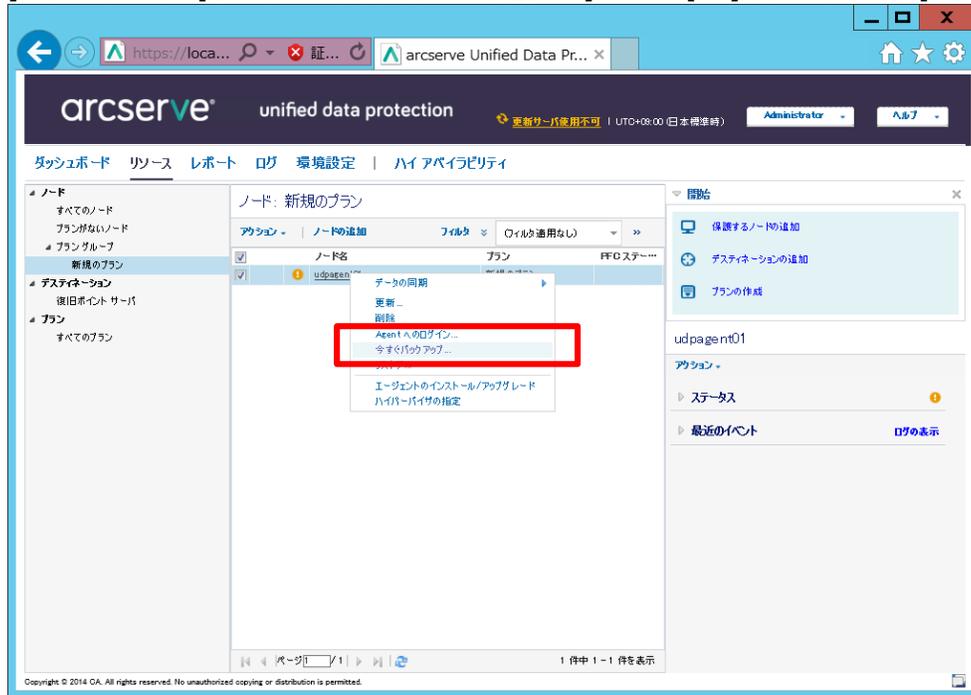
[拡張]タブをクリックします。ジョブ前後のコマンド実行設定やメール通知の設定等の詳細設定が行えます。本ガイドでは設定をせずに進めます。[保存]ボタンをクリックして、プランを保存します。以上でプランの作成は終了です。



### 1.3 バックアップの実行

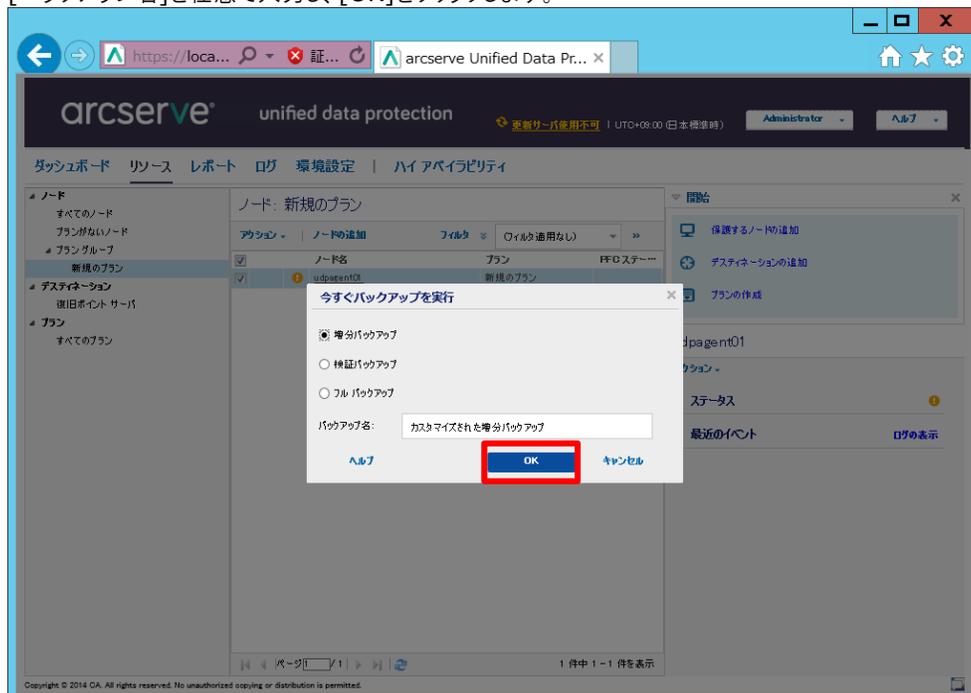
#### (1) [手動バックアップ]

手動でバックアップを実行します。追加されたプランにて、対象ノードを右クリックして出てくるメニューから、[今すぐバックアップ]をクリックします。(対象ノードを選択し、[アクション] - [今すぐバックアップ] からでも選択できます)

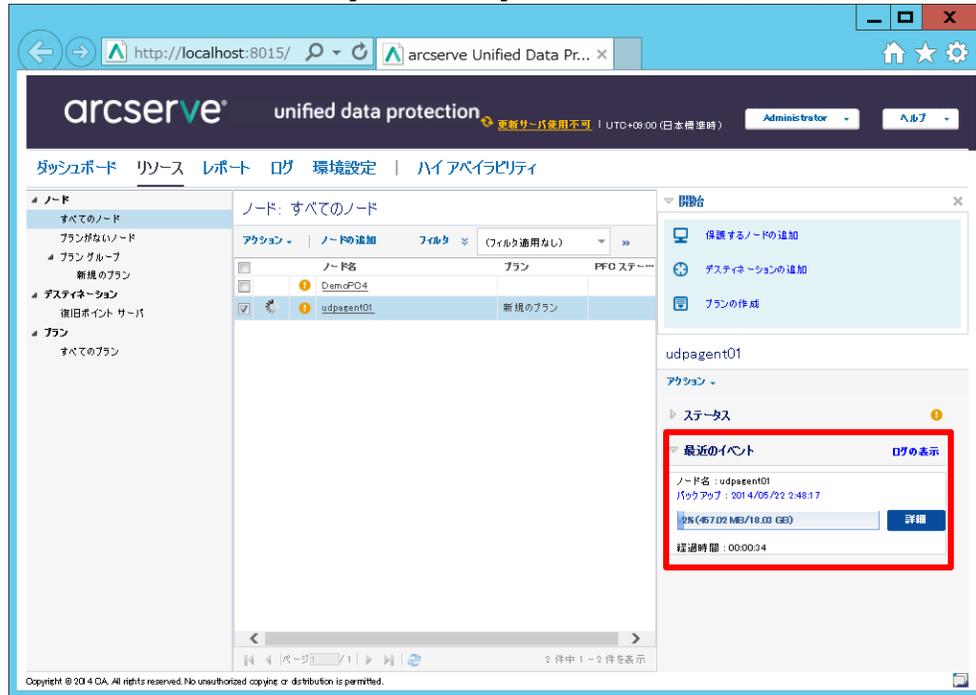


#### (2) [今すぐバックアップを実行]

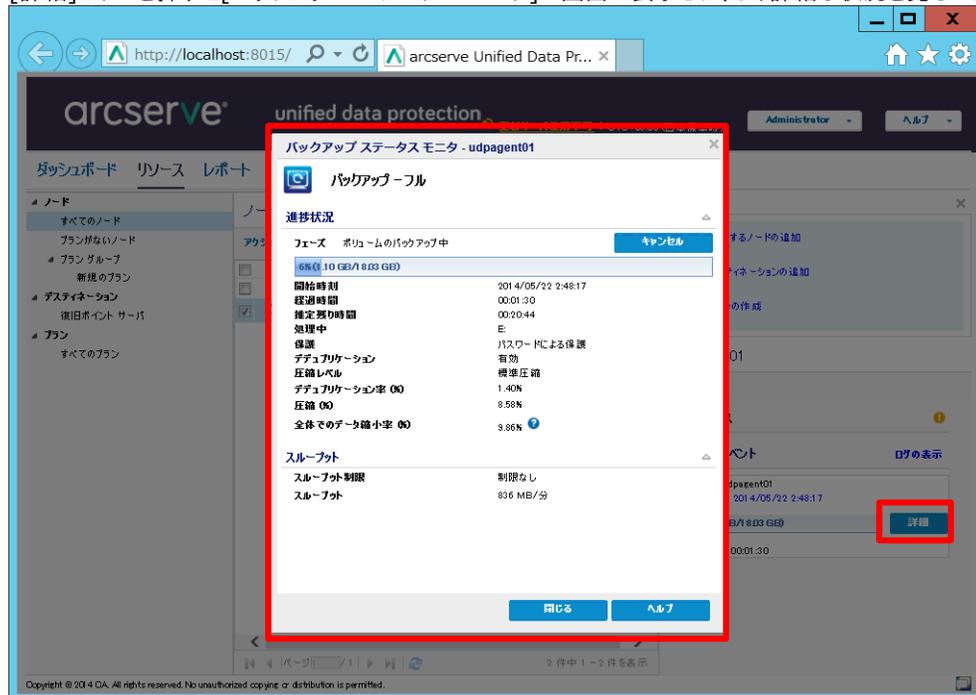
デフォルトでは増分バックアップが選択されていますが、初回バックアップは自動的にフルバックアップに変換されます。[バックアップ名]を任意で入力し、[OK]をクリックします。



バックアップジョブがサブミットされ、[最新のイベント]にジョブの実行状況が表示されます。



[詳細]ボタンを押すと[バックアップ ステータス モニタ]の画面が表示され、より詳細な状況を見ることができます。



## 2. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカatalogや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

### 2.1 製品情報

Arcserve シリーズ ポータルサイト

<http://www.arcserve.com/jp/>

動作要件

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/201865549>

注意/制限事項

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/203837545>

技術情報など

Arcserve UDP - 技術情報 (使用方法)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/sections/200533155>

Arcserve UDP - 技術情報 (インフォメーション)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/sections/200533205>

Arcserve UDP - 技術情報 (エラー)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/sections/200473529>

マニュアル選択メニュー:

<http://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/V5/JPN/bookshelf.htm>

### 2.2 トレーニング情報

#### 2.2.1 無償トレーニング

どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。(競業他社の方はお断りしております。)

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/seminar.aspx>